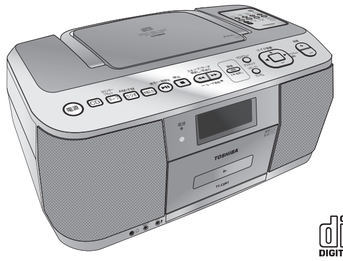
TOSHIBA
Leading Innovation

取扱説明書

東芝 CD ラジオカセットレコーダー

形 名 **TY-CDK7**



COMPACT disc DIGITAL AUDIO

日本国内専用
Use only in Japan

- このたびは CD ラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書に付いていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

東芝CDラジオカセットレコーダー保証書

持込修理品

形名	TY-CDK7	
★お客様 お名前	ふりがな 様	
★お客様 ご住所	〒□□□-□□□□	
★お客様 電話	市外 市内 番号 呼	
保証期間 本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から
★ご販売店	住所・店名 電話	

東芝エルイートレーディング株式会社
〒101−0021 東京都千代田区外神田1−1−8（東芝万世橋ビル）

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。
また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディングサポートセンターへご相談ください。

東芝エルイートレーディングサポートセンター
0120-28-0488
受付時間：365日 9:00〜20:00
携帯電話・IP電話など
050-3786-0488（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通話料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒101−0021 東京都千代田区外神田1−1−8（東芝万世橋ビル）

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 “死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。

⚠注意 “軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。

図記号の説明

禁止 してはいけないこと（禁止）を示します。

指示 しなければならないこと（指示）を示します。

もし異常が起こったら

⚠警告

指示
- **異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く**
  （異常・故障例）
  ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・内部に水や異物が入った
  ・電源プラグが異常に熱い ・電源コードが傷んでいる ・本体に変形や破損した部分がある
  そのまま使うと火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグについて

⚠警告

指示
- **電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む**
- **本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する**
- **電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、プラグを抜き、ゴミやホコリをとる**
- **電源コードを取り扱うときは、次のことを守る**
  ・傷つけない ・延長するなど加工しない ・加熱しない ・引っ張らない ・重いものを載せない
  ・はさまない ・無理に曲げない ・ねじらない ・束ねない
- **電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く**
  取り扱いを誤ると、感電や発熱による火災の原因となります。

禁止
- **・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  火災・感電の原因となります。

⚠注意

指示
- **長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
  通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化などにより、火災の原因となることがあります。

禁止
- **電源コードは付属のもの以外を使用しない**
- **付属の電源コードを他の機器に使用しない**
  火災・感電の原因となります。

ご使用について

⚠警告

指示
- **持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く**
- **落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**
  取り扱いを誤ると、火災・感電・けがの原因となります。

禁止
- **分解・修理・改造はしない**
- **異物を入れない**
- **雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない**
- **通気孔をふさがない**
  ・壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
  ・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けない
  ・じゅうたんや布団の上に置かない ・あお向け・横倒し・逆さまにしない
  火災・感電・事故の原因となります。

⚠注意

禁止
- **花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない**
- **CDやカセットの挿入口に手を入れない**
- **円形ディスク以外は使用しない**
- **CDピックアップをのぞき込まない**
- **本機の上にのったり、重いものを置いたりしない**
- **ヘッドホンの音量を上げすぎない**
- **長時間、音が歪んだ状態で使わない**
  けが・故障・火災などの原因となります。

設置について

⚠警告

禁止
- **次のような場所での使用、設置はしない**
  ・雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所
  ・雨、きりなどが直接入り込む場所
  ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所
  ・直射日光の当たる場所、炎天下の車内 ・ホコリの多い場所
  ・調理場など油煙や湯気の当たる場所 ・振動の強い場所
  ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
  ・極端に高温、低温、湿度変化の激しい場所 ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
  本機の破損・火災・感電の原因となります。

お願い
- 近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

乾電池について

⚠注意

指示
- **乾電池を取り扱うときは、次のことを守る**
  ・指定以外の乾電池を使わない ・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
  ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
  ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない
  ・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない ・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない
  ・長時間使わないときは、本機から乾電池を取り出す
  発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
  もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具についた場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

CDについて

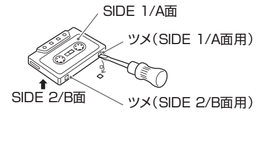
COMPACT disc DIGITAL AUDIO

- CD-R、CD-RWディスクについては、音楽収録用規格（CD-DA フォーマット）で記録された一般市販ディスクが再生できます。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
- コピーコントロールCD や特殊形状など規格外のディスクは再生できません。
- CDの再生中はCDふたを開けないでください。CDを傷つけることがあります。
- CDに傷、指紋、ホコリがついていると、再生できないことがあります。
  一部再生できた場合でも音がとんだり、停止することがあります。
- CD面に紙やシールを貼らないでください。傷ぶしたり、面振れして正しく再生できなくなります。
- CD面に汚れや傷がつかないように大切に扱ってください。必ず専用ケースに入れて保管ください。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。変形して再生できなくなります。
- CDを入れる前に再生面にホコリやゴミ、指紋などがついていたら、柔らかい布でふき取ってください。
- シンナーやベンジン、アルコールはCDの情報面を劣化させ、読み込めなくなるので使用しないでください。

カセットテープについて

- ノーマルテープ（TYPE1）をご使用ください。
- ハイポジション（TYPE2）やメタル（TYPE4）テープは再生できますが、その特性を活かすことはできません。また録音すると正しく録音・消去できません。エンドレステープは使用できません。
- 100分以上の長時間テープはたいへん薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。
- テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。テープ巻つきなどの原因になります。

大切な録音を消さないために



- カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
- 誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
  • ホコリの多い所 • 磁気の発生する所
  • 高温や湿気の多い所

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター
フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：365日 9:00〜20:00
携帯電話・IP電話など
050-3786-0488（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- CD ラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

持込修理品

本書に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

■保証期間中は
保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金。
部品代	修理に使用した部品代。

便利メモ	お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ店名	電話 （ ）

愛情点検

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。
- 電源コードが傷んでいる
- 煙がでる
- 変なにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用中止 故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

故障かな？と思ったとき

症状	原因	処置方法
電源が入らない	● 供給プラグが電源端子（AC IN〜）からはずれている	→ プラグを確実に差し込む
	● 供給プラグが電源端子（AC IN〜）の途中までしか入っていない	→ プラグを奥までしっかり差し込む
	● 電源コンセントにプラグが入っていない	→ コンセントに確実に差し込む
	● 電池極性間違い（乾電池でお使いの場合）	→ 乾電池を正しく入れる
	● 乾電池が消耗している（乾電池でお使いの場合）	→ すべて新しい乾電池に交換する。
音が出ない	● 音量レベルが下がっている	→ 音量レベルを調節する
	● ヘッドホンが差し込まれている	→ ヘッドホンをはずす
	● 音源切り換えが合っていない	→ 音源切り換えを合わせる
CD プレーヤー部		
再生が始まらない	● CDが裏返しになっている	→ 印刷面を上にして入れる
	● CDが汚れている	→ CDをとりかえる
	● CD装着部のレンズが汚れている	→ 清掃する
音がとぶ	● CDに大きな傷やそりがある	→ CDをとりかえる
	● 振動する場所に設置している	→ 振動のない場所に設置する
	● CD装着部のレンズが汚れている	→ 清掃する
再生が止まる	● 乾電池で再生中に電源コードをつないだ	→ 電源コードをはずし、乾電池を取り出してやり直す
テープレコーダー部		
カセットが入らない カセットふたが閉まらない	● カセットの向きが上下逆になっている	→ テープの見えている方を下にして入れる
	● カセットが正しく入っていない	→ カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	● カセットの不良	→ カセットをとりかえる
	● テープが全部巻き取られている	→ カセットを裏表入れ替える
録音されない （noTAPE表示になる）	● ツメの折れたカセットを装着している	→ カセットをとりかえる → 録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	● ヘッド部が汚れている	→ 清掃する
	● ハイポジションやメタルテープを使っている	→ ノーマルテープを使用する
	● 乾電池が消耗している	→ 乾電池を交換する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	● 電源雑音の影響を受けている	→ 電源プラグを差し換えてみる
	● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている	→ 本機を雑音源から離す → テレビを消す
	● 電波が弱い	→ アンテナを調節する

お願い
- 長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

お手入れのしかた

お手入れのときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

テープヘッド部

- 市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）のご使用をおすすめします。
- 市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽くふいてください。
- 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。
  このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

CDピックアップ（レンズ）部

- ホコリなどは、市販のブロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でホコリを掃き出します。
- 指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

本体

- 柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

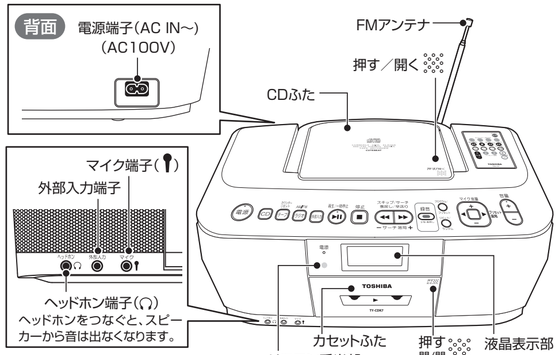
仕様

CD プレーヤー部	
チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW（CD-DA フォーマットで記録されたディスク）
カセットテープレコーダー部	
トラック方式	4トラック、2チャンネルステレオ
録音方式	ACバイアス
消去方式	交流消去
早送り・巻戻し時間	約120秒（60分テープ片面）
推奨テープ	コンパクトカセットテープ90分以下 ノーマルテープ TYPE1
周波数範囲	75Hz〜12,000Hz
ラジオ部	
受信周波数（＊）	AM：531kHz〜1,629kHz FM：76.0MHz〜90.0MHz
共通部	
実用最大出力（＊）	2.5W＋2.5W
スピーカー（＊）	10cm×2
ヘッドホン出力端子	3.5φステレオミニジャック
外部入力端子	
マイク端子	3.5φモノラルミニジャック
電池持続時間（＊）	TOSHIBA 単2形アルカリ乾電池使用時 ラジオ受信時：約22時間 テープ再生時：約17時間 CD再生時：約11時間
電源（＊）	AC 100V、50/60Hz DC 12V、単2形乾電池×8本（別売）
消費電力（＊）	16W
最大外形寸法（＊）	364（幅）×158（高さ）×220（奥行）mm （ボタン・FMアンテナ部の突起・ハンドル含まず）
質量（＊）	約2.5kg（乾電池含まず）
付属品	電源コード、リモコン（リチウム電池付属）、取扱説明書（保証書付）

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
（＊）印は（社）電子情報技術産業協会の定める『JEITA 規格』による測定値。

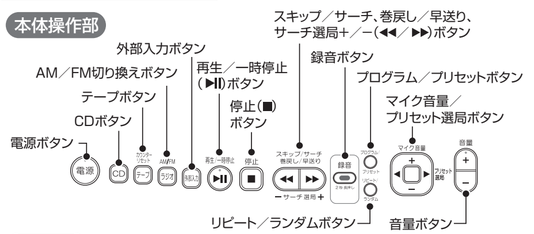
この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

各部のなまえ

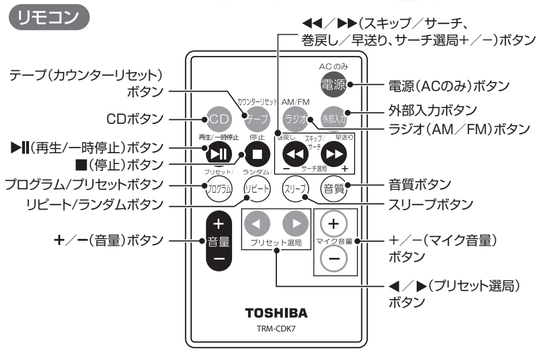


お知らせ
- 定格銘板が本体底面にあります。

本体操作部

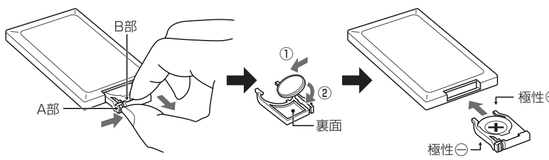


リモコン



ご注意
- 購入後初めてリモコンを使うときは、電池ケース部の絶縁シート（透明）を引き抜いてください。取り付け済み（付属）の電池はおためし用です。
- 本体のリモコン受光部の正面から約５メートル、左右30度の範囲内でお使いください。

ボタン電池の交換



1 電池ケースのA部を親指のツメで矢印の方向に押しながら、人差し指のツメをB部にかけて引き出す。
2 電池ホルダーを裏返し、古いリチウム電池を取りはずす。
3 新しいリチウム電池(CR2025)を図のように極性⊖を上向きにして、電池ホルダーに斜めに差し込み(①)、カチッと音がするまで押し込む(②)。
4 電池ホルダーの表面を上向きにして、リモコンにカチと音がするまで押し込む。

ご注意
- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池の極性（＋と−）は正しく入れてください。

電源について

家庭用電源(AC100V)で使うとき

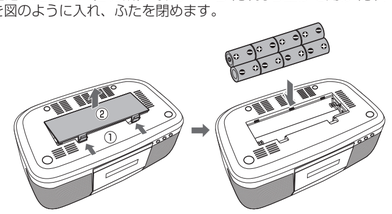
1 付属の電源コードの供給プラグを背面の電源端子(AC IN~)の奥までしっかり差し込む
※電源供給プラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがありますので、プラグは必ず奥までしっかり差し込んでください。

2 電源プラグを家庭用電源(AC100V)のコンセントへしっかり差し込む

お願い
- 電源プラグを抜き差しするときは、電源を切ってから行ってください。

乾電池(別売)で使うとき

本体底面の電池ふたのツメ(２カ所)を押しながら(①)持ち上げて開け(②)、別売の単２形乾電池８本を図のように入れ、ふたを閉めます。



- 極性(⊕と⊖)を正しく入れてください。
- 電源コードが電源端子に接続されていると、家庭用電源が優先してはたらきます。乾電池で使うときは、電源コードをはずしてください。
- 長期間(１カ月以上)使用しない場合や家庭用電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

● 乾電池で使用する場合は、ボタンを操作してから約10秒後に、液晶表示部が消灯します。

乾電池の交換時期は…
- 乾電池が消耗してくると、表示部の ▭ が点滅します。音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CDやテープが正常に動作しない、などの現象が生じます。

共通操作について ●本書では、本体での操作を中心に説明しています。

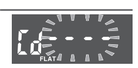
ボタンの押しかたについて
●押す…短く押して放すことです。(2 秒未満) ●長押しする…長く押し続けることです。(2秒以上)

電源を入れる	(電源)を押す 電源が入ります。 初めて電源を入れると、液晶表示部に"Cd"が表示され、"-- -- -- --"が点滅します。 • ２回目からは、最後に使ったモード(Cd／AM／FM／TAPE／LINE)が表示されます。最後に使ったモードがAMまたはFMの場合は、最後に設定した放送局を受信します。 • リモコンでは、家庭用電源(AC100V)で使っているときのみ電源を入れることができます。
音量を調節する	音量 ＋／− を押す　• 音量は00から31まで調節できます。
音質を切り換える(リモコンのみ)	(音質)を押す • 押すたびに、音質が"FLAT"→"ROCK"→"JAZZ"→"CLASSIC"→"FLAT"…と切り換わります。
ヘッドホン(別売)で聴く	ヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を前面のヘッドホン端子(🎧)に接続する • ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。
スリープ機能を使う(リモコンのみ)	(スリープ)を押す 設定した時間がたつと電源が切れます。 • 押すたびに、設定時間が、120分→90分→60分→30分→15分→OFF→120分…と切り換わります。 • 設定後、２秒で元の表示に戻ります。 • スリープ設定中は、液晶表示部に"SLEEP"が表示されます。 • スリープ設定中に(スリープ)を押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
電源を切る	(電源)を押す　• 液晶表示が消え、電源が切れます。

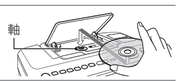
お知らせ
- 再生音が出ない状態で約15分が経過すると、自動的に電源が切れます。

CDを聴く

1 電源を入れ、(CD)を押してCDモードにする
"Cd"表示が約５秒間点滅し"no Cd"が表示されます。
• CDが入っている場合、総曲数と総演奏時間が表示されます。



2 押す/開く を押してCDふたを開け、印刷面を上にしてCDを入れる
• CDは軸にしっかりはめ込んでください。



3 CDふたを閉める
カチッと音がするまで押して、確実に閉めてください。
"-- -- -- --"が点滅し、約５秒後に総曲数と総演奏時間が表示されます。
• CDが読み込めない場合は、"Err"と表示されます。本紙表面の「CDについて」をご参照ください。

(例)17曲入り
総演奏時間67分55秒

4 再生一時停止 (▶II) を押す
▶が表示され、曲番１から再生が始まり、演奏中の曲番と経過時間が表示されます。

(例)曲番１の再生中

一時停止する	再生中に 再生一時停止 (▶II) を押す • もう一度 (▶II) を押すと、再生が始まります。
停止する	停止 (■) を押す • (■) を押さなくても最終曲が終了すると停止します。 CDを取り出すには：CDの回転が止まってから 押す/開く を押してください。
早送り／早戻しする	再生中に (⏭)(⏮) を長押し • (⏭) を押し続けると早送りになります。 • (⏮) を押し続けると早戻しになります。
頭出しをする	再生中・一時停止中に (⏭)(⏮) を押す • (⏭) を押すたびに、１曲ずつ次の曲へ進みます。 • (⏮) を押すと再生中の曲の頭に戻り、２回押すと前の曲の頭に戻ります。

プログラム(曲順)の設定

お好みの曲を 20 曲まで選び、設定した曲順に再生することができます。

1 停止中に プログラム を押す
液晶表示部に"PRG"が点灯し、プログラム番号"P01"が点滅します。

2 "P01"が点滅している間に、スキップ／サーチ (⏮)(⏭) を押してプログラム設定をしたい曲番を選ぶ

(例)(⏭)を５回押して、P01にCDの５曲目を設定している場合

3 プログラム を押し、決定する
"P01"が登録され、次のプログラム番号"P02"が点滅します。

4 引き続きプログラムを設定する場合は、2〜3を繰り返す
• 最大21曲以上設定しようとすると"FULL"と表示されます。
• 設定が終わったら(▶II)を押してください。

5 再生一時停止 (▶II) を押す
P01にプログラム設定した曲から再生が始まります。

(例)P01に設定した曲番５の再生中

プログラム予約した曲番の確認をする	CD停止中に プログラム を押す • プログラム を押すたびにプログラム予約した曲番が表示されます。
プログラム設定を取り消す	他の機能モード(ラジオ・テープ)に切り換える • プログラムが取り消されます。 • CDふたを開けても、プログラム設定を取り消すことができます。

リピート・ランダム再生

停止中や再生中に リピート／ランダム ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。
1 曲リピート再生 ⇒ 全曲リピート再生 ⇒ ランダム再生 ⇒ 解除 ⇒ 1 曲リピート再生…

1曲リピート再生	リピート／ランダム を押す　↻1
全曲リピート再生	リピート／ランダム を２回押す　↻ ALL
ランダム再生	リピート／ランダム を３回押す　RND
プログラムリピート・ランダム再生	プログラム再生中または一時停止中に リピート／ランダム を押す リピート／ランダム を押すたびに、次のように切り換わります。 １曲リピート再生⇒全曲リピート再生⇒ランダム再生⇒解除
リピート再生／ランダム再生の取消	リピートまたはランダム再生中に表示が消えるまで リピート／ランダム を押す

ラジオを聴く

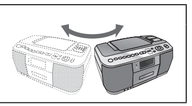
1 電源を入れ、AM/FM ラジオ を押してラジオモードにする
押すたびに、FM放送とAM放送が切り換わります。

2 スキップ／サーチ 巻戻し／早送り (⏮)(⏭) を押して放送局を選ぶ
(⏭)(⏮)を長押ししてボタンから指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します(自動受信)。
別の放送局を自動受信するとき、または自動受信中の受信ノイズ(雑音)で停止したときは、もう一度長押しします。
• FMステレオ放送を受信した場合は、"ST"が表示されます。

よりよい受信をするために

FM放送
アンテナを伸ばし、最もよく聞こえる方向に向けてください。

AM放送
本体の向きを変えてください。



FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると"ST"が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り換わり、"ST"表示が消えます。
- AMステレオ放送には対応していません。

放送局の登録(プリセット)

お好みの放送局をFM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録できます。

オートプリセット選局(自動で一度に登録する)

1 AM/FM ラジオ を押し、FM放送またはAM放送を選ぶ

2 プログラム を長押しする
周波数の低い方からサーチし、受信状態のよい放送局が見つかると、１番から順番に記憶します。(プリセット番号が約１秒間表示されます)

好みの放送局を選んでプリセット(手動で１局ずつ登録する)

1 お好みの放送局を選ぶ

2 プログラム を押す
"PRG"が点灯し、"CH"番号が表示されます。
• 別の番号に登録する場合は、10秒以内に プリセット選局ボタン を押します。

3 プログラム を押して放送局を登録する
• 登録完了後、表示は点灯表示に変わります。

4 他の放送局を登録するときは、1〜3を繰り返す

プリセットした放送局を選ぶ	ラジオを受信しているとき、プリセット選局 の◀／▶を押す • ボタンを押すたびにプリセットされた放送局の周波数が表示されます。

外部音声機器の音声を聴く

1 外部音声機器の音声出力端子(イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子)を本機の外部入力端子へ接続する(接続コードは別売)

2 電源を入れ、外部入力 を押して外部入力モードにする
"LINE"が表示されます。

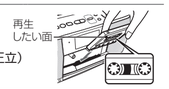
3 接続した音声機器を操作して音声を再生する
本機のスピーカーから音声が流れます。

お願い
- 携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーと接続するコードは、φ3.5mmステレオミニプラグ付接続コード（別売）を使用してください。

テープを聴く

1 電源を入れ、テープ を押してテープモードにする

2 カセットふたの 押す/開く を押してカセットふたを開け、カセットを入れる
再生したい面を手前、テープの露出している辺を下向きにして(正立)カセットふたのガイドに沿ってカセットを入れます。



再生したい面の左側にテープが巻き取られていることをご確認ください。

3 カセットふたの 押す/開く を押してカセットふたを閉める

4 再生一時停止 (▶II) を押す
再生が始まります。

お知らせ
- 再生中にテープが全部巻き取られると、自動的に停止します。

一時停止する	再生中に 再生一時停止 (▶II) を押す • もう一度 (▶II) を押すと、再生が始まります。
停止する	停止 (■) を押す
早送り／巻戻しする	停止中に (⏭) または (⏮) を押す
カウンターをリセットする	再生または停止中に カウンターリセット (0000) を押す

お願い
- テープを再生・録音中は電源を切らないでください。電源を切る前に、停止 (■) で停止してください。
- テープを取り出す前に、停止 (■) で停止してください。

テープに録音する(本体操作部のみ)

1 電源を入れ、押す/開く を押してカセットふたを開け、カセットを入れる
• 録音したい面の左側にテープが巻き取られていることをご確認ください。

2 カセットふたを閉め、録音を始める位置でテープを停止させる。

3 ● CDを録音する：(CD) を押してCDモードにして、CDを入れる
CDが読み込まれ、総曲数と総演奏時間が表示されます。
・総曲数と総演奏時間が表示されてから 録音 を押してください。
・希望の曲から録音したいときは、曲番を選びます。
・プログラム録音したい場合は、先に プログラム を押してプログラムの設定をしてください。
CDシンクロ録音について：
・CD停止中に 録音 を押すと、１曲目から再生し、録音されます。
・CD再生中に 録音 を押すと、再生中の曲の先頭に戻って再生し、録音されます。
・CD一時停止中に 録音 を押すと、そこから再生し、録音が始まります。
● ラジオを録音する：AM/FM ラジオ を押してラジオモードにして、録音する放送局を受信する
● 外部機器を録音する：外部入力端子に、3.5 φステレオミニプラグ接続コード(別売)で外部機器を接続して、外部入力 を押して外部入力モードにして、外部機器を再生する
● マイクで録音する：マイク端子(🎤)にマイク(3.5 φモノラルミニプラグ)を接続する

4 録音 を長押しする
録音が始まります。テープカウンターもカウントを開始します。

録音の一時停止	録音中に 再生一時停止 (▶II) を押す • もう一度 (▶II) を押すと、再び録音が始まります。	録音を止める	録音中に 停止 (■) を押す

お知らせ
- AMラジオを録音中にビート音（「ピー」の音）が聞こえる場合、プログラム を押してください。
受信状態により、ビート音の大きさが変わります。

マイクを使ってカラオケを楽しむ

1 電源を入れ、マイク(φ3.5mmモノラルミニプラグ)をマイク端子(🎤)に接続する
• マイク音量を調節するときは、マイク音量 の＋／−を押します。音量は0から10まで調節できます。

2 お好みのカラオケ音源(CD、カセット)を再生し、カラオケを楽しむ
本機のスピーカーからマイクの音声が流れます。

お知らせ
- カラオケ音源CDでのカラオケをテープに録音したい場合は、録音を長押ししてください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒101−0021　東京都千代田区外神田1−1−8(東芝万世橋ビル)